

# 平成20年度 東京 浅草寺 歳の市 羽子板市

●日時 12月17日(水)～19日(金) ●場所 東京・浅草 浅草寺境内  
●主催 東京歳之市羽子板商組合 ●協賛 浅草観光連盟 ●出店数 約50店(羽根・凧含む)



東京・浅草寺で江戸時代から続く「歳の市 羽子板市」。初日は雨模様となったが、2、3日目は快晴に恵まれ、暮れの風物詩ならではのにぎわいを見せた。1年の世相を表した変わり羽子板や近年人気の振袖や伝統的な歌舞伎物など多彩な羽子板が並び、絵柄を見比べたりシャッターを切る人々でごった返した。売れ筋は1万～5万円程度で、売り上げは昨年とほぼ同じという。

今年は浅草寺本堂落慶50周年を記念して新たな特大羽子板が奉納され、無病息災、家内安全、商売繁盛を願い、12月2日(火)～19日(金)まで本堂内に展示された。また、東京藝術大学デザイン科の学生と羽子板職人が協同製作したユニークな羽子板の展示コーナーや、恒例の「お絵描き羽子板」「手形羽子板」のコーナーも設けられ、来場者を楽しませた。

(取材協力/東京歳之市羽子板商組合)



歌舞伎物を始め、世相を表したユニークなものまで多種多様な羽子板が並んだ

## 《浅草寺本堂落慶50周年記念》 特大羽子板「助六由縁江戸桜」



製作に携わった総人員数を問う懸賞付きクイズも実施



▲「お絵描き羽子板」コーナー

▲藝大生&職人  
コラボ羽子板